

「つちだの独り言」

第 74 回 JABA ベーブルース杯第二戦対信越硬式野球クラブ

6 対 3 で辛勝 4 投手継投 3 失点打撃陣 10 安打 6 得点

明治安田生命	0	1	3	1	0	0	0	1	0	6
イニング	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計
信越硬式野球クラブ	2	0	0	0	0	0	0	1	0	3

バッテリ 明治安田生命 ○小林(5回 2失点)・小玉(1回失点 0)・森井(1回失点 0)・中崎(2回失点 1)
—森川・道端(7回から)

信越硬式野球クラブ ●工藤(6回失点 5)・酒井(2回失点 1)・佐渡(1回失点 0)―一原

初回 2 死後から 3 番新城がセンター越の三塁打、4 番小川敬遠で 2 死 3・1 塁の先取点へのチャンスも 5 番高瀬左飛でチャンスを生かせず。1 回裏 1 死 2 番四球 3 番レフト線に二塁打で先取点を許す 4 番三振で 2 死 5 番四球 2 死 2・1 塁ピンチ 6 番にライトへ 1 点適時打で 2 点先取される。

2 回明治安田生命は先頭 6 番永廣が内野安打で出塁悪送球で 2 塁へ 7 番伊藤儀打で永廣は三塁へ進む 8 番鈴木が左飛儀打で 1 点獲得。

3 回表先頭 2 番新城が四球で無死 1 塁 4 番小川の時新城盗塁成功左飛 1 死 2 塁、5 番高瀬ライトへヒット 1 死 3・1 塁から 1 塁ランナー高瀬 2 塁へ盗塁 1 死 3・2 塁のチャンスに 6 番永廣がレフトへ適時打 2 点で逆転その間レフトの悪送球で永廣 3 塁へ 7 番伊藤中飛儀で永廣 4 対 2 とする

4 回表 1 死後 1 番福岡ライト線 2 塁打、2 番木田倒れ 3 番新城が右適時打福岡ホームへ 5 対 2 とする。

8 回 1 番福岡左安打 2 番木田儀打福岡 2 塁へ。3 番新城三振、4 番小川に代打泉澤が左適時二塁打で追加点。(6 対 2)

小林投手は 2 回以降 5 回まで得点を与えず小玉・森井へ継投 6・7 回と抑える 8 回森井が登板するも 2 安打 1 死球で 1 失点 9 回無失点で 6 対 3 で辛うじて勝った。

明日の対戦相手は都市対抗東海地区の中堅チームで都市対抗 15 回・日本選手権 10 回を誇るチームです。

都市対抗東京都代表二次予選に向かつての相手としては意義ある試合と思う。

最終目的は第 93 回都市対抗東京都代表を勝取る修練の試合です。頑張れ明治安田生命//

(文中選手諸君の敬称省略いたしました。)

第 93 回都市対抗東京都二次予選組合せは明日の一次予選で二次予選 3 チーム進出決定後抽選で決定いたします。

明治安田生命は現在二次予選第二シードの予定です。5 月 23 日より大田スタジアムで開催されます。明和会・友和会の皆様の温かいご支援・ご声援をお願い致します。

東京都二次予選組合せ表は決定次第明和会・友和会各ホームページに掲載されます。

本レポートは日本野球連盟のホームページの一球速報から記載いたしました。

2022 年 5 月 4 日

土田唯雄